

学級レクNo.1 【オンリーワンを狙え！最大数当てゲーム】

○準備物

解答用紙（ゲーム回数×班数分）、ペン（班数分）、BGM（任意）

○レクのながれ

- ・3～4人班をつくる
- ・各班に解答用紙とペンを配付する
- ・ルールを説明する
- ・ゲーム開始
- ・結果発表

○ルール

- ①班ごとに相談して0～100のうち、好きな数字を解答用紙に1つ書く
- ②司会者は100から順にカウントダウンしていくので、自分たちの班が書いた数字が読み上げられたら解答用紙を司会者に見えるように持ち上げる
- ③最も大きい数字を書いた班の勝ちとなる
- ④ただし、書いた数字が他の班とかぶったらアウトとなる
- ⑤つまり、他の班とかぶらずに最も大きい数字を書いた班の勝ちとなる

○ポイント

- ・相談内容が他の班に聞こえないよう、班同士の位置をできる限り遠ざける
→シンキングタイムでBGMをながすとよい

○アレンジ

- ・班ごとに選択できる数字を2つ、3つと増やすことで、さらにゲームの難易度を上げられます
→1枚の解答用紙に書ける数字は1つまでとし、例えば選択できる数字を2つに増やす場合は、2枚の解答用紙を使用する
→例えば「数字は3つ選べるが、あえて1つの数字だけで勝負して勝った場合、その班にはボーナスポイントを与える」といったルールを追加すると、さらにゲームの戦略性を上げられます
- ・司会者もゲームに参加し、各班が相談して数字を決める前に、例えば「私は95以上の数字を書きました」といったように、書いた数字のヒントとなる情報を先に宣言することで、さらにゲームの戦略性を上げられます
- ・全ての班が数字を書き終わったあと、“ウソをついてもよい”という前提のもと、特定の班の代表者に自分たちが書いた数字のヒントとなる情報や数字そのものを発表させ、それを受けて各班が数字を書きなおせる機会を設定すると、さらにゲームの戦略性を上げられます
- ・全員に解答用紙を配付し、個人戦として実施することもできます